

# 山陽小野田市食育推進会議議事録

会議の種類	令和5年度第2回山陽小野田市食育推進会議		
日時	令和5年10月10日(火) 14:30~16:00		
場所	高千帆地域交流センター分館2階		
出席者	山陽小野田市保育協会	今井 梢	(委員)
	山陽小野田市私立幼稚園連盟	勝木 京子	(委員)
	山陽小野田市母子保健推進協議会	高木 理代	(委員)
	山陽小野田市立山口東京理科大学	立花 研	(委員)
	市民代表	富田 輝美	(委員)
	山陽小野田市地球温暖化対策地域協議会	内藤 美恵子	(委員)
	山陽小野田市食生活改善推進協議会	半矢 幸子	(副会長)
	山口県漁業協同組合	久中 幸子	(委員)
	山陽小野田市教育研究会	増田 和美	(委員)
	小野田南高泊干拓農業協同組合	松村 孝子	(委員)
	市民代表	村上 美喜子	(委員)
	宇部フロンティア大学短期大学部	山下 晋平	(会長)
	(出席者数 12人)		
欠席者	山口県販売協力店連携協議会	西丸 朋子	(委員)
	山口県立厚狭高等学校	森 祐子	(委員)
	山陽小野田料飲組合	山本 直仁	(委員)
	(欠席者数 3人)		
事務局	福祉部部長 吉岡 忠司	福祉部次長兼高齢福祉課長	尾山 貴子
	福祉部次長兼子育て支援課長 長井由美子	健康増進課長	船林 康則
	健康増進課技監 大海 弘美	健康増進係長	山本 真由実
	健康増進係長(食育担当) 加藤諭香江	健康管理係主任技師	白井 誓栄
食育推進庁内連絡会	環境課長 山本 満康	農林水産課長	臼井 謙治
	学校教育課長 長谷川 裕司	学校給食センター所長	和田 英樹
	1 開会あいさつ		
	2 議事		
	(1) 令和4年度山陽小野田市食育推進事業報告について (資料1および資料2 事務局から説明)		

会 委	長 員	資料2について御質問、御意見はあるか。 小学3年生がグリーンハウスの見学を実施しており、見学に行った小学生が“トマトがすごくおいしい”と言っていた。生産者の顔が見え、関わることの大切さを感じた。このような体験は影響力があるので、ぜひ機会を与えてほしい。
会	長	やっとコロナが落ち着き、行動制限が解除された。生産者と触れ合う機会が増えるといい。キッズファームでの体験などもあるのでぜひ参加してほしい。 ねたろう食育博士養成講座での内容について、関わっている委員に教えていただきたい。
委	員	実際にグリーンハウスで作っている野菜を持参し、手に取ってもらって説明をしている。ネギ三昧、ナスや枝豆などの季節の野菜の他、今年は白ナスと普通のナスと比べてもらった。講話の時間が短いため、野菜の説明程度だが、市内には農家があるということを知ってもらいたい。
会	長	ねたろう食育博士養成講座は小学生以上を対象としているので年齢層が幅広いが、どのように説明されているのか。
委	員	子どもに栄養成分は難しいが、ナスにはポリフェノールが含まれている等を保護者に向けて説明している。子どもには野菜をしっかり食べてねと伝えている。
委	員	野菜は種から育てているのか。苗からか。
委	員	グリーンハウスでは種から育てている。
委	員	種から芽が出ると感動する。
事 務 局	局長	ねたろう食育博士養成講座ではきゅうりの苗を配布している。
会	長	種から育てて芽が出ると感動する。きゅうりの苗を家庭に持ち帰って育てる過程が食育につながる。
委	員	以前、ねたろう食育博士養成講座を受講したことがある。すごく楽しい講座だった。可能であれば、出前講座という形で地域のグループに出向いた手法があるといいのではないかと思う。例えば、園に出向き、先生方が受講し、そこがきっかけとなって子どもにも伝えられる。
会	長	現在は小学生以上が対象になっているが、先程言われたように対象外の人たちにも事業を展開していくと地域一体化できるように思う。出前講座の形にどう展開するかは継続課題になると思う。
委	員	対象年齢が小学生以上となっているのでPRは行っているが、園は対象年齢ではないので参加率の実感が沸かない。しかし、出前講座のような形で講座があると有り難い。
委	員	素晴らしい養成講座であると感じた。その中で、食育の良さをPRする人材が育成できていないことが課題として挙げたが、どのような姿が見られたら達成できたといえるのか、お聞きしたい。
事 務 局	局長	講座の中では、食育博士になったらどのようなことをしたいか聞いている。受講生からは、「まずは家族、友達に学んだことを伝えていきたい」という声を多くいただいております、それも食育博士の活動の1つであると伝えている。理想は、食育教室を開催することを求めている。

会 委 員	長 員	<p>事業内容について食品ロスの観点で助言をいただきたい。</p> <p>食べる量を作り、食べ残さないことが原則。消費者の会では、お弁当を食べて、残った量を計測し、どのくらい食品ロスがあるか計算したこともある。年配の方は“もったいない”という気持ちからお弁当など残っても持ち帰る人が多いが、若い方は食中毒の観点から残っても持って帰らない傾向がある。食品ロスにつながるためには、買いすぎないことも大切だが、余ったものを社協でも集める取組もある。</p>
会 委 員	長 員	<p>食べられる量を作り、残さず食べることは大事と改めて感じた。</p> <p>私たちは生き物の命をいただいている。意識を持てば食品ロスはなくなる。当たり前なことだが、常に感謝することが大切。</p>
事 務 局	局	<p>講座の中で、挨拶や感謝の気持ちについて伝えている。園や学校の教育、家庭でもしっかりされているので挨拶については習慣化している印象を受けている。講座の中でも押さえていきたい。</p>
会 委 員	長 員	<p>ねたろう食育博士養成講座では魚を扱うことはないが、ミニしょくいくはかせ教室では魚を扱っている。魚について実施している内容を委員から教えていただきたい。</p>
事 務 局	局	<p>9月30日に漁業体験のイベントを開催したところ、35名（親子で70名）の参加があった。その中で刺身と煮つけの試食をしてもらったところ、すべての子どもが食べていた。この魚を食べたことがあるかの問いに「見たことも食べたこともない」と答えた子がいた。保護者が家庭で与えていない。ぜひ家庭でも食べさせてほしいと伝えた。</p>
事 務 局	局	<p>市でも魚を扱う料理教室は課題に感じている。講座でも取り入れたいが、短時間という時間が限られた中で魚を捌くところから料理に仕上げるのは難しい現状がある。ミニしょくいくはかせではイワシの手開きを実施している。保護者については、家庭でできない体験なので、子どもを受講させたいという希望がある。助言をいただきながら、どのような形で機会を増やしていけるか検討していきたい。</p>
会 委 員	長 員	<p>資料1について、事業報告が掲載してあるが、御質問、御意見はあるか。</p>
事 務 局	局	<p>資料1および2について、本日、欠席委員より事前に意見をいただいているので、紹介したい。</p>
	(欠席委員)	<p><b>資料1</b>の8ページ飲食店でのヘルシーレシピの提供についてですが、ヘルシーメニューをコンセプトとしている店でない場合、「ヘルシーメニュー」を謳うというのは難しいかもしれないが、メニューの一部に加えていくことはできると思う。メニューの選択肢が増えたとお客様の幅も広がると思うが、常時ではなく、料飲組合が協力して、期間を決めてイベントとして取り組んで行くことの方がPRもできるのではないかと。実行委員会を作ったり、協賛を募って利用者に特典がある仕組みをつくるのも1つではないかと。</p>
	(欠席委員)	<p><b>資料1</b>の8ページ飲食店でのヘルシーレシピの提供についてですが、丸久では、県の「減塩サポーター」に登録しており、県内の工場で作って各店舗で販売している「お弁当」や「お惣菜」は、すでに煮物の出し</p>

	<p>を効かせるなどして減塩に取り組んでいる。開始当初は、「減塩」をPRする表示をしているが、現在は、「出汁が効いている」「旨味が効いている」または、「管理栄養士監修」といった表示にとどめている。消費者が手に取りやすい表示にすることも大切になる。</p>
(欠席委員)	<p>最近の高校生の食生活についてですが、朝食を家で食べずに学校について食べていたり、休み時間に軽食やお菓子を食べる生徒もいる。おなかのすいたときに食べている生徒が多いように感じる。回数を増やして少しずつ食べているような印象なので、お弁当の量は少なく、お弁当も小さい生徒が多い。今回、手作り弁当コンテストの応募の前に量についての指導も行った。痩せている生徒は多いが、「やせ志向」でダイエットしているというより、食べ方の変化を感じている。</p>
会 長	<p>その他で御意見等はあるか。先程、欠席委員から高校生に関する現状があったが、大学生はどうか。</p>
委 員	<p>所属している薬学部は女子学生が多く意識が高いと感じる。間食も学内で見かけない。気がかりなのは、工学部。男子学生が多いということもあり、高校生の現状と同じ様子が見られると聞いたことがある。現在薬学部に知識を身につける機会をいただいているが、工学部もそのような機会があれば知識を身につけてほしい。</p>
会 長	<p>所属している短期大学は女子学生が多いが、休み時間に間食をしている学生が多く目立つ。また、お弁当が小さい。高校生も大学生も同じ課題があるなど感じた。</p>
会 長	<p>(2) 第2次山陽小野田市食育推進計画最終評価及び第3次食育推進計画策定について (資料3事務局から説明) 資料3について御質問、御意見はあるか。 (特になし)</p>
会 長	<p>(3) その他 その他、御意見はあるか。 (特になし)</p>
事 務 局	<p>3 その他 1 点目 食育講演会について 当日参加も可能であるので、引き続き周知等に御協力いただきたい。 2 点目 11月のスマイルエイジング強化月間について 11月のスマイルエイジング強化月間中に市民の皆さんの健康づくりのきっかけとなる様々なイベントを集中的に行う。市民体操「SOSおきよう体操」を実施、手作り弁当、レシピコンテストの第2次審査となる市民投票を行う。コンテストの投票につきましては、10/15～11/6まで、今年度は、各地域交流センターでの紙での投票に加えて、市ホームページやQRコードからの投票も可能としている。投票をお願いしたい。ま</p>

	<p>た、裏表紙の親子でできるエクササイズ、簡単ヨガで身体もリフレッシュは、まだ、定員にゆとりがあるので、周知等に御協力いただきたい。</p> <p>3点目 SOS 健康フェスタについて</p> <p>11月19日（日）に厚狭地区複合施設で開催する。少し多めにチラシを持ってきているので、周知等に御協力いただきたい。</p> <p>健康増進課長あいさつの後、閉会した。</p>
--	--